

2024年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧

学科	開講年次	科目番号	科目名	単位数	担当者	非常勤	実務経験との関連(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
全学科	1年	2102 3102 4102	国文学	2	中村光宏		系列校の高等学校校長及び国語科の教員経験を活かし、日本文学の移り変わりを理解し、さまざまな作品の解釈から自分なりの作品観や価値観を深める内容の科目である。
全学科	1年	2105 3105 4105	経済学	2	兼平拓道		金融紙の経済記者としての実務経験を活かし、経済環境の変化等について、基本的知識であるマーケットメカニズム、インフレとデフレ、金融システム、金利、株式、為替、財政、家計などを学ぶ科目である。
全学科	1年	2109 3109 4109	地域活性化論A	2	市田淳治		主担当者(市田)は、青森県の試験研究機関において、地域資源の有効利用に関する研究開発に携わり、研究成果を地域企業に移転して事業化に取り組んでいる。
全学科	1年	2131 3131 4131	論文文技術Ⅰ	1	船水周		公立小学校教諭・教頭・校長、教育センター研究員、小・中・高での授業、内地留学、教育雑誌・書籍・新聞コラムの執筆等の実務経験をもとに、レポートや論文を書くための形式やルールを理解させ、論理的な文章の書き方の基礎を身に付けてもらう。
全学科	1年	2132 3132 4132	論文文技術Ⅱ	1	船水周		公立小学校教諭・教頭・校長、教育センター研究員、小・中・高での授業、内地留学、教育雑誌・書籍・新聞コラムの執筆等の実務経験をもとに、読み手に伝わる文章について具体的に理解させ、論理的な文章の書き方の基本を身に付けてもらう。
全学科	1年	2141 3141 4141	英語AⅠ	1	FitzpatrickChristopher	○	長年にわたり国内や海外の様々な教育機関で、異なった年齢を対象に教鞭をとってきたESLの経験豊富な教員が授業を担当する。英語論文やその他英語文献を編集／校正した経験も多数ある。2011年東日本大震災後、青森に避難した家庭の子供たちに英語を教えた経験を通して子供を教育するという領域の理解を深めた。
全学科	1年	2142 3142 4142	英語AⅡ	1	FitzpatrickChristopher	○	長年にわたり国内や海外の様々な教育機関で、異なった年齢を対象に教鞭をとってきたESLの経験豊富な教員が授業を担当する。英語論文やその他英語文献を編集／校正した経験も多数ある。2011年東日本大震災後、青森に避難した家庭の子供たちに英語を教えた経験を通して子供を教育するという領域の理解を深めた。
全学科	1年	2161 3161 4161	体育Ⅰ	1	神和人		アルペンスキーオリンピック世界選手権大会等での日本チームトレーナーとしての経験を活かし、スポーツに関する知識等を学ぶ内容の科目である。
全学科	1年	2162 3162 4162	体育Ⅱ	1	神和人		アルペンスキーオリンピック世界選手権大会等での日本チームトレーナーとしての経験を活かし、スポーツに関する知識等を学ぶ内容の科目である。
こども発達学科	1年	2207	ピアノ基礎Ⅰ	1	一戸智之		ピアノ指導者協会における指導及び専属ピアニストとして演奏の経験を持つ教員が、ピアノの基礎的な知識と技能、教材の伴奏方法などについて指導する。
こども発達学科	1年	2208	ピアノ基礎Ⅱ	1	一戸智之		ピアノ指導者協会における指導及び専属ピアニストとして演奏の経験を持つ教員が、ピアノの基礎的な知識と技能、教材の伴奏方法などについて指導する。
こども発達学科	1年	2220	基礎ゼミⅠ	1	齋藤雅俊・他		研修会の講話の際、実務家教員が担当した場合は自分の経験を踏まえた講話を行う。
こども発達学科	1年	2221	基礎ゼミⅡ	1	齋藤雅俊・他		研究室配属に向けての説明の際、実務家教員が自分の経験を踏まえた講話を行う。
こども発達学科	1年	2309	生活	1	齋藤昭		小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、実際に学習内容を体験してみようことを大事にしながら、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導する。
こども発達学科 健康栄養学科	1年	2701 3602	教職の理解	2	齋藤雅俊・他		(教壇)スクールカウンセラーの経験のある教員が、児童生徒の発達の特徴を踏まえた問題行動、支援、保護者との連携方法について講義する。
こども発達学科	2年	2209	声楽Ⅰ	1	諏訪才子		中学校・高等学校の音楽の授業における歌唱活動(合唱を含む)、式歌、及び合唱部等の指導経験を活かし、学校教育の歌唱活動全般における実践力、指導力の基礎の定着を図る。
こども発達学科	2年	2210	声楽Ⅱ	1	諏訪才子		中学校・高等学校の音楽の授業における歌唱活動(合唱を含む)、式歌、及び合唱部等の指導経験を活かし、学校教育の歌唱活動全般における実践力、指導力の基礎の定着を図る。
こども発達学科	2年	2301	国語Ⅰ	1	船水周		公立小学校教諭・教頭・校長、教育センター研究員、小・中・高での授業、内地留学、教育雑誌・書籍・新聞コラムの執筆等の実務経験をもとに、国語力及び国語学力の向上に資するため、コミュニケーションの知識、技能を理解させ、具体的、実践的に学んでもらう。
こども発達学科	2年	2302	国語Ⅱ	1	船水周		公立小学校教諭・教頭・校長、教育センター研究員、小・中・高での授業、内地留学、教育雑誌・書籍・新聞コラムの執筆等の実務経験をもとに、国語力及び国語学力の向上に資するため、国語の知識、文学作品などを理解させ、具体的、実践的に学んでもらう。
こども発達学科	2年	2303	社会	1	大谷伸治	○	小学校現場における教育経験のある教員が、その経験を活かして、人文・社会諸科学の専門知をふまえた小学校社会科の授業づくりの視点や方法を指導する。
こども発達学科	2年	2315	小学体育A	1	上野秀人	○	小学校及び在外教育施設における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導する
こども発達学科	2年	2316	小学体育B	1	上野秀人	○	小学校及び在外教育施設における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導する
こども発達学科	2年	2501	子どもの健康と安全	1	福土章子		小・中学校・大学での保健室担当の経験を活かし、子どもの体調不良への対処の仕方や救急処置の方法、感染症への予防措置などを講義する。

学科	開講 年次	科目 番号	科目名	単位 数	担当者	非 常 動	実務経験との関連(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
こども発達学科	2年	2502	子どもの保健	2	松尾泉	○	保健師・助産師の資格を持ち、小児保健に関する実務経験を持つ教員が担当します。
こども発達学科	2年	2505	子どもの言葉	1	船水周		公立小学校教諭・教頭・校長、教育センター研究員、小・中・高での授業、内地留学、教育雑誌・書籍・新聞コラムの執筆等の実務経験をもとに、幼児期の言葉の発達・獲得に関する理論や知識、技能を理解させ、具体的、実践的に学んでもらう。
こども発達学科	2年	2506	子どもの表現	1	諏訪才子		中学校等の音楽科の授業における弾き歌いの経験、歌唱・鑑賞活動の指導経験を活かして、弾き歌いの歌唱法・伴奏法、また、歌唱・鑑賞についての指導を行う。
こども発達学科	2年	2507	ピアノ表現Ⅰ	1	一戸智之		ピアノ指導者協会における指導及び専属ピアニストとして演奏の経験を持つ教員が、ピアノの基礎的な知識と技能、教材の伴奏方法などについて指導する。
こども発達学科	2年	2508	ピアノ表現Ⅱ	1	一戸智之		ピアノ指導者協会における指導及び専属ピアニストとして演奏の経験を持つ教員が、ピアノの基礎的な知識と技能、教材の伴奏方法などについて指導する。
こども発達学科	2年	2509	造形表現A	1	工藤千華		保育士として私立保育園に勤務、保育所における造形指導の実務を行う。実務経験をもとに造形に関する知識や技能等を指導する。
こども発達学科	2年	2510	造形表現B	1	工藤千華		保育士として私立保育園に勤務、保育所における造形指導の実務を行う。実務経験をもとに造形に関する知識や技能等を指導する。
こども発達学科	2年	2511	子どもの運動あそびⅠ	1	小関潤子	○	幼稚園・保育園・小学校等での運動・健康作り指導経験を活かした運動遊びについての講義と実技をおこなう
こども発達学科	2年	2512	子どもの運動あそびⅡ	1	小関潤子	○	幼稚園・保育園・小学校等での運動・健康作り指導経験を活かした運動遊びについての講義と実技をおこなう
こども発達学科	2年	2605	言葉の指導法	2	船水周		公立小学校教諭・教頭・校長、教育センター研究員、小・中・高での授業、内地留学、教育雑誌・書籍・新聞コラムの執筆等の実務経験をもとに、幼児期の言葉の指導に関する知識、技能及び小学校教育との接続について理解させ、具体的、実践的に学んでもらう。
こども発達学科	2年	2805	子ども家庭支援の心理学	2	萩臺美紀		臨床心理士として病院や学校で子どもやその家族を援助した経験から、子ども家庭を支援するための心理学的知識について講義する。
こども発達学科	2年	2806	保育の計画と評価	2	江莉川淳子	○	幼稚園教諭として保育現場での経験がある教員が、実習に向けての指導の計画や模擬保育を指導する。
こども発達学科	2年	2810	障害児保育	2	若林一哉	○	認定こども園、児童発達支援センターで実務経験のある教員がその経験を生かして、障害児保育の基本的な知識と手法、考え方について講義する。
こども発達学科	2年	2813	保育実習指導Ⅰ	2	保育士課程委員会		(吉田) 幼児教育の現場経験を有する教員が手遊び・歌などの保育実技を指導する。
こども発達学科	2年	2814	保育実習ⅠA	2	保育士課程委員会		(吉田) 幼児教育に従事した経験を有する教員が実習期間中に巡回訪問指導を行う。
こども発達学科	2年	2815	保育実習ⅠB	2	保育士課程委員会		(吉田) 幼児教育の実務経験を有する教員が実習期間中に巡回訪問指導を行う。
こども発達学科	3年	2305	算数	1	齋藤昭		小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導する。
こども発達学科	3年	2401	国語科教育法	2	船水周		公立小学校教諭・教頭・校長、教育センター研究員、小・中・高での授業、内地留学、教育雑誌・書籍・新聞コラムの執筆等の実務経験をもとに、国語教育及び国語科教育の理論や知識、技能を理解させ、具体的、実践的に学んでもらう。
こども発達学科	3年	2402	社会科教育法	2	大瀬勝彦	○	青森県総合学校教育センター義務教育課指導主事として、初任者研修・経験者研修、選択研修で社会科を担当。中学校で社会科を担当。
こども発達学科	3年	2403	算数科教育法	2	齋藤昭		小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、指導案の作成、模擬授業を通して、具体的な授業場面をもとに指導する。
こども発達学科	3年	2404	理科教育法	2	竹内史宗	○	公立小学校校長・理科教育研究会部会長の経験を活かし、問題解決の活動を視点とした指導法と、児童の学びの過程において「見方・考え方」を働かせた授業実践について考察する科目である。
こども発達学科	3年	2405	生活科教育法	2	齋藤昭		小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、指導案の作成、模擬授業を通して、具体的な授業場面をもとに指導する。
こども発達学科	3年	2407	図画工作科教育法	2	蝦名敦子	○	小学校現場については、管理職(校長)として現場経験があり、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導する。
こども発達学科	3年	2409	体育科教育法	2	上野秀人	○	小学校及び在外教育施設における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導する

学科	開講 年次	科目 番号	科目名	単位 数	担当者	非 常 動	実務経験との関連(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
こども発達学科	3年	2602	健康の指導法	2	小関潤子	○	保育園や幼稚園等で運動指導・健康教育経験のある教員が、現場指導での指導のポイントや留意点等を指導する
こども発達学科	3年	2606	表現の指導法A I	1	諏訪才子		中学校等の音楽の授業における歌唱教材の弾き歌いの経験、また、リコーダー等楽器の指導経験を活かして、幼稚園教諭・保育士の必須技能である弾き歌いの歌唱法・伴奏法の指導、楽器の指導を行う。
こども発達学科	3年	2607	表現の指導法A II	1	諏訪才子		中学校等の音楽の授業における歌唱教材の弾き歌いの経験、また、リコーダー等楽器の指導経験を活かして、幼稚園教諭・保育士の必須技能である弾き歌いの歌唱法・伴奏法の指導、楽器の指導を行う。
こども発達学科	3年	2608	表現の指導法B I	1	工藤千華		保育士として私立保育園に勤務、保育所における造形指導の実務を行う。実務経験をもとに造形に関する知識や技能等を指導する。
こども発達学科	3年	2609	表現の指導法B II	1	工藤千華		保育士として私立保育園に勤務、保育所における造形指導の実務を行う。実務経験をもとに造形に関する知識や技能等を指導する。
こども発達学科 健康栄養学科	3年	2705 3608	総合的な学習の時間の 指導法	2	齋藤昭		小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究、授業展開、児童理解の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導する。
こども発達学科 健康栄養学科	3年	2706 3609	特別活動の指導法	2	齋藤昭		小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、特別活動の目的、内容についての理解を深めるとともに、学級活動の模擬授業を通して、具体的な指導方法について考えていく。
こども発達学科 健康栄養学科	3年	2708 3611	生徒・進路指導	2	齋藤昭		小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、児童理解の仕方、問題行動への指導の仕方などについて、具体的な場面をもとに考えていく講義にしていきたい。
こども発達学科	3年	2709	子どもの理解と援助	2	萩臺美紀		臨床心理士として学校や病院に勤めた経験から、子どもを心理学的に理解し援助する方法について講義する。
こども発達学科 健康栄養学科	3年	2710 3612	教育相談	2	萩臺美紀		スクールカウンセリングの経験のある教員が、学校現場で生じる児童・生徒の問題や臨床心理学的援助方法について講義する。
こども発達学科	3年	2716	事前事後指導(幼)	1	吉田裕美子		幼稚園教諭の経験を活かし、幼稚園教諭としての責任感や使命感についての心構えや子どもとの関りについて、教育実習の経験を踏まえ、指導里力について探求する科目である。
こども発達学科	3年	2717	教育実習(幼)	4	吉田裕美子		幼稚園教諭の経験を活かし、幼稚園教諭としての責任感や使命感についての心構えや子どもとの関りについて、教育実習の経験を踏まえ、指導里力について探求する科目である。
こども発達学科	3年	2816	保育実習指導Ⅱ	1	保育士課程委員会		(吉田)幼児教育の現場経験を有する教員が実習指導案作成と模擬保育について指導を行う。
こども発達学科	3年	2817	保育実習Ⅱ	2	保育士課程委員会		(吉田)幼児教育の現場での勤務経験を有する教員が実習期間中に巡回訪問指導を行う。
こども発達学科	4年	2244	教育方法演習B	2	齋藤雅俊・船水周・葛西美樹・工藤寧子		(船水)公立小学校教諭・教頭・校長、教育センター研究員、小・中・高での授業、内地留学、教育雑誌・書籍・新聞コラムの執筆等の実務経験をもち、国語教育及び国語科教育の理論や知識、技能を理解させ、具体的、実践的に学んでもらう。
こども発達学科	4年	2708	生徒・進路指導	2	齋藤昭		小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、児童理解の仕方、問題行動への指導の仕方などについて、具体的な場面をもとに考えていく講義にしていきたい。
こども発達学科	4年	2711	事前事後指導(小)	1	齋藤昭・小野昇平		(齋藤昭)公立小学校校長の経験を活かし、教育実習の目的、心得、学習指導、生徒指導の方法など、教育実習中のある実際の場面に生かしていただける講義内容としていく。
こども発達学科	4年	2713	教職実践演習(幼・小)	2	齋藤雅俊・他		(齋藤昭)小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を生かして、教材研究、授業展開、児童理解、生徒指導、学習評価の仕方などについて、具体的に指導していく。
フードマネジメント学科	1年	4401	フードビジネス論	2	市田淳治		地元会社の取締役の現場経験等があり、新商品を市場へ送り出すまでの可能性調査、事業計画の作成及び事業を円滑に推進するためのマネジメントの手法等を紹介し、実践に必要な基本的知識を学ぶ科目である。
フードマネジメント学科	2年	4206	消費生活論	2	兼平拓道		金融紙の経済記者としての実務経験を活かし、企業取材から得た事例等を取り上げて、消費者生活について学ぶ科目である。
フードマネジメント学科	2年	4207	健康イノベーションを 考える	1	村下公一	○	授業担当教員は本プロジェクトを統括しており、ビッグデータ活用など健康分野での最先端の研究成果や取組について講義する
フードマネジメント学科	2年	4311	食品衛生学	2	吉村小百合		旧青森県衛生検査センターでの実務経験あり。水道水の衛生面、水質に関する内容を行う。
フードマネジメント学科	2年	4316	食品機能性評価実験	1	市田淳治		担当者は、地域の試験研究機関において、地域食資源に含まれる機能性成分の抽出、分離及び機能性評価に関する実験研究に携わった実績を保有している。
フードマネジメント学科	2年	4318	食品分析学	2	吉村小百合		旧食品衛生検査センターにおける業務、弘前大学医学研究科感染生体防御学講座における研究時に使用した分析方法を行う。

学科	開講 年次	科目 番号	科目名	単位 数	担当者	非 常 動	実務経験との関連(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
フードマネジメント学科	2年	4404	フードスペシャリスト論	2	市田淳治		地域の試験研究機関における研究開発とその事業化を担当した他、支援機関でコーディネータを務め、地域食産業の支援を実践した実績を有する。
フードマネジメント学科	2年	4407	フードテック戦略	2	市田淳治		担当者は地域の試験研究機関において、バイオテクノロジーとコンピュータ科学を融合した境界領域において、地域の食産業の関する課題解決を目的とした研究開発に取り組んだ実績を保有している。
フードマネジメント学科	2年	4408	食関連法令概論	2	市田淳治		地域の試験研究機関で研究開発に携わり、その後、技術移転した企業において商品化を支援、工程管理から品質評価、流通、販売まで実務を経験した。現在、HACCP導入を試みている。
健康栄養学科	1年	3301	地域健康支援論	2	市田淳治		担当者は、長年にわたり青森県の試験研究機関において、地域の食品資源が健康の増進と疾病の予防に及ぼす影響について研究を行っている。
健康栄養学科	1年	3327	応用栄養学	2	熊谷貴子	○	病院での臨床経験がある教員が、その経験を生かして、ライフステージ別の栄養状態に応じた栄養管理の基本的な知識と手法、考え方について講義する。
健康栄養学科	2年	3304	地域健康支援実習	1	小沼奈緒美		長年の行政栄養士の経験を活かし、健康寿命の延伸・健康格差を縮小するため、地域の健康問題に関する健康情報の利用方法、情報管理や情報処理を学び、地域に根ざした健康支援のマネジメント能力を修得する科目である。
健康栄養学科	2年	3306	解剖生理学	2	福井康三・飯泉恭一		(福井)臨床経験を生かして、健康と疾患理解の前提となる人体構成要素(細胞、組織、器官および器官系)の構造と機能について講義する。
健康栄養学科	2年	3307	病態別生理学	2	福井康三		長年の臨床経験を生かして、疾病の病態と栄養の関与および栄養療法の意義について講義する。
健康栄養学科	2年	3311	基礎免疫学	2	福井康三		臨床経験を生かして、免疫学の基本的な知識と免疫系が関与する疾患および臨床応用について講義する。
健康栄養学科	2年	3328	世代別栄養学	2	小沼奈緒美		長年の行政栄養士の実務経験を活かし、ライフステージ各期の身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方、栄養状態の評価と適切な対応のための基本的技能を学修する科目である。
健康栄養学科	2年	3330	応用栄養学実習	1	小沼奈緒美		長年の行政栄養士の経験を活かし、栄養管理の基本的考え方を理解したうえで、妊娠や発育、加齢など人体の構造や機能の変化に伴う栄養状態の評価と適切な対応に必要な基本的技能を修得する科目である。
健康栄養学科	2年	3335	臨床栄養学	2	伊藤恵美子		長年にわたる病院管理栄養士科長としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、栄養面から疾病予防や治療に貢献することを目標とし、臨床栄養管理の意義、栄養補給法、栄養ケアプロセス、チーム医療等、実践に必要な基礎的知識を学ぶ科目である。
健康栄養学科	2年	3342	公衆栄養学	2	小沼奈緒美		長年の行政栄養士の経験を活かし、公衆栄養活動の歴史や健康・栄養問題の変遷について理解し、課題解決に向けた公衆栄養プログラムを展開するための基本的な考え方と方法について学修する科目である。
健康栄養学科	2年	3502	家庭科教育法Ⅱ	2	林孝子	○	高等学校で家庭科教員、教頭としての実務経験、青森県総合学校教育センターで指導主事としての実務、それらの経験を生かして、教科教育法についての指導及び教員として大切なことについて講義する。
健康栄養学科	3年	3336	実践介護食事論	2	伊藤恵美子		高齢者施設、長年にわたる病院管理栄養士科長としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、適切な介護食・治療食の必要性と臨床栄養的アプローチ、高齢期における生理機能や予備能、嚥下障害について理解を深め栄養ケア・マネジメントの理論を学ぶ科目である。
健康栄養学科	3年	3337	臨床栄養管理学	2	伊藤恵美子		長年にわたる病院管理栄養士としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、チーム医療における管理栄養士の任務、疾患別の食事療法および栄養指導の理論と実際について、実践に必要な栄養管理のスキルを修得する科目である。
健康栄養学科	3年	3338	臨床栄養生化学	2	伊藤恵美子		長年にわたる病院管理栄養士科長としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、栄養素の代謝特性を臓器別・病態別に理解し、栄養素の欠乏や過剰から生じる代謝変化や各疾患の代謝異常のメカニズムを生化学の視点から学び臨床分野の基礎知識を修得する科目である。
健康栄養学科	3年	3339	臨床栄養学実習	1	伊藤恵美子		長年にわたる病院管理栄養士科長としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、臨床栄養学の知識を実践に反映させるために栄養アセスメント・栄養診断・栄養ケアプランの作成等臨床栄養管理の一連の流れや献立作成・展開食等実践演習を修得する科目である。
健康栄養学科	3年	3340	臨床科学実験	1	伊藤恵美子		長年にわたる病院管理栄養士科長としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、生化学的分析、身体計測・体組成評価、栄養剤や特殊治療食品等の栄養組成や物性を科学的に評価・分析し食事療法・栄養計画に応用するための知識と技術を修得する科目である。
健康栄養学科	3年	3341	臨床福祉栄養学実習	1	伊藤恵美子		高齢者施設、長年にわたる病院管理栄養士科長としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、医療・福祉対象者の栄養状態を的確に評価、栄養状態を維持向上するため栄養管理の基本、栄養補給法、栄養剤の選択判断等、多角的な面の知識とスキルを修得する科目である。
健康栄養学科	3年	3343	地域健康栄養学	2	小沼奈緒美		長年の行政栄養士の経験を活かし、地域における個人・家族・組織・集団のすべての人々を公衆栄養活動の対象とした公衆栄養活動について、地域診断や公衆栄養アセスメントの手法を用い、実践的に学修する科目である。
健康栄養学科	3年	3344	公衆栄養学実習	1	小沼奈緒美		長年の行政栄養士の経験を活かし、健康寿命の延伸・健康格差を縮小するため、地域の健康・栄養に関するデータを分析し、行政栄養士が効果的に公衆栄養活動を実践するための専門的な技術・技能の習得を目的とする科目である。
健康栄養学科	3年	3348	栄養管理総合演習	1	伊藤恵美子・小沼奈緒美・花田玲子		(伊藤・小沼)長年の病院栄養士・行政栄養士の経験を活かし、健康づくり及び医療福祉の動向と管理栄養士業務を熟知するため、現職の管理栄養士を講師に招き演習を行い、実践的な意見交換および議論により総合的に学修する科目である。
健康栄養学科	4年	3349	臨地実習総合演習	1	前田朝美・伊藤恵美子・小沼奈緒美・花田玲子		(伊藤・小沼)長年の病院栄養士・行政栄養士の経験を活かし、臨地実習から得た知識やスキルを共有するとともに、専門分野を横断した広い視野で管理栄養士の社会的役割と任務を考察し、課題解決力を身につける科目である。

学科	開講年次	科目番号	科目名	単位数	担当者	非常勤	実務経験との関連(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
健康栄養学科	4年	3351	公衆栄養学臨地実習	1	小沼奈緒美		長年の行政栄養士の経験を活かし、現場における行政栄養士の役割や業務内容を理解することを目的とし、地域の特徴を捉えたPDCAサイクルに基づいた公衆栄養活動を体験するとともに、地域の健康の保持・増進に向けた栄養マネジメント能力を修得する科目である。
健康栄養学科	4年	3352	臨床栄養学臨地実習Ⅰ	1	伊藤恵美子		長年にわたる病院管理栄養士科長としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、食事としての臨床栄養学的意義、食事の嗜好性と満足度等を重視して、栄養状態を評価・判定し、問題点の抽出、目的決定、適正な栄養管理を実践活動の場で体得する科目である。
健康栄養学科	4年	3353	臨床栄養学臨地実習Ⅱ	1	伊藤恵美子		長年にわたる病院管理栄養士科長としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、栄養アセスメント、病態別栄養法、治療食の決定と調整、非経口栄養の活用、クリニカルパスの実践、チーム医療での役割、栄養食事指導等を実践活動の場で体得する科目である。
健康栄養学科	4年	3615	教職実践演習(中・高)	2	齋藤雅俊・小林琢哉・葛西美樹、他		(齋藤昭)小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を生かして、児童理解、生徒指導、学級経営の仕方などについて、具体的に指導していく。
健康栄養学科	4年	3617	教職実践演習(栄養教諭)	2	齋藤雅俊・小林琢哉、他		(齋藤昭)小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を生かして、児童理解、生徒指導、学級経営の仕方などについて、具体的に指導していく。
単位数合計				154			